

ちゃんと かわら版



松恵小学校フラワーロード集會
校舎花壇と周辺を2240株の花で彩る

恵庭市立松恵小学校（真野智美校長）の校舎花壇や正門前の道路両側への植栽活動「フラワーロード集會」が6月4日に開催されました。

今年の集會は全児童89人と保護者10人が参加。東恵庭環境保全会（藤野修三会長）、東恵庭松恵クラブ（澤永幸雄会長）の会員30人も加わり、総勢129人で行われました。校舎の花壇とフラワーロードと呼ばれる道路沿いに、ブルーサルビアやマリーゴールドなどの花苗計2240株を参加者全員で手分けして植栽しました。

集會では同校の児童が所属するボランティア組織「緑の少年団」団長の

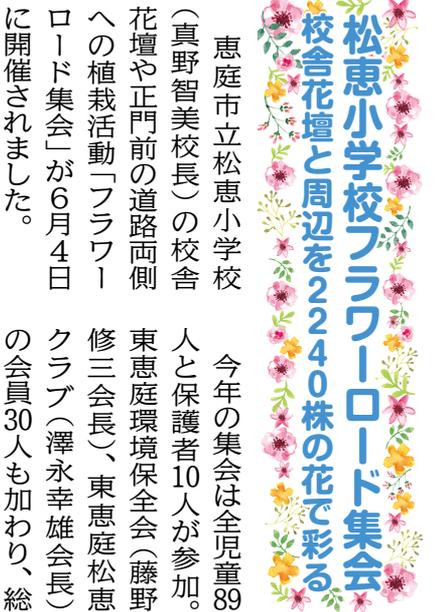
数井陽菜さん（6年）が「フラワーロード集會とは私たち緑の少年団が行う活動です。今日は、縦割り班みんなで協力して花を植えますよ」とあいさつ。真野校長は「皆さんの活動はいつもいろいろな人たちに支えられて行われています。花のことも植え方を教えてもらいながら今日も楽しく作業してください」と呼びかけました。

その後、花苗の植え方や注意事項の説明を受け、1～4年生は校舎敷地内の花壇、5・6年生と大人たちは校舎前のフラワーロードに分かれて作業を開始。30分ほどか

けて丁寧に植栽しました。花壇では、上級生が下級生に手順を教えながら植えていく微笑ましい姿も見られました。

作業終了後、児童が花壇に水やりをしながら「これからも元気に咲いてほしい」と笑顔を見せていました。

（編集部 大谷）



ウオーキング」を開催しています。今年で21回目となる同イベントは、コロナ禍の影響で2020年から2年間中止。昨年は規模を縮小して行っていました。今年から制限を解除しての開催となりました。市内4会場で開催が行われ、全体で約40団体500人のほか、原田裕市長と横道義孝副市長も参加しました。

その後、市中心部、恵庭テクノパーク、恵み野、島松の4つのルートに分かれて作業をスタート。約2時間かけて3、4kmのルートを歩き、ごみ袋と火ばさみを手に道路脇や草むらに落ちていたタバコの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどを丁寧に拾い集めていました。

同連合会は石狩、北広島、恵庭、千歳、江別の5市で書道教室を開く各支部で構成。会員拡大キャンペーンの一環として、筆を持つ楽しさを多くの皆さんに知っていただきたいと今年初めて開催。子どもから大人まで幅広く参加できるイベントをと考え、ワークショップやライブパフォーマンスを準備し

ました。会場には家族連れや書に興味のある市民らが次々と来場。ワークショップでは臨書や規定をメインにボールペン、ペン字、かな、実用書道、写経などのコーナーを設置。子どもから大人まで多くの来場者が毛筆と硬筆の違いなど書道の奥深さについて理解を深めました。また、ライブパフォーマンスでは同連合会役員らが「温故知新」や「飄（つむじかせ）」など半紙いっぱい表現する実演を行い、会場を沸かせました。

初のイベントを終え、山田会長は「予想を超える来場者の多さに驚くとともに、多くの皆さんが書道に触れるきっかけになったのではと思います。今回は千歳でしたが、次回は他の4市でもキャンペーンを実施したい」と意欲を見せていました。

（編集部 伊藤）

恵庭市と市役所ボランティアサークル「シボラ」（吉成祐輔代表）が主催する清掃活動「クリーンウォーキング2024」が5月30日、恵庭市内4か所で実施されました。市は2003（平成15）年に「きれいなまちづく

り条例」を制定し、ポイ捨てのない美しい緑と花のまちを目指して地域の環境美化への取り組みをすすめてきました。5月30日を「ごみゼロの日」に定め、毎年この日に市民や各種団体、企業など呼び掛けて「クリーン

ウオーキング」を開催しています。今年で21回目となる同イベントは、コロナ禍の影響で2020年から2年間中止。昨年は規模を縮小して行っていました。今年から制限を解除しての開催となりました。市内4会場で開催が行われ、全体で約40団体500人のほか、原田裕市長と横道義孝副市長も参加しました。

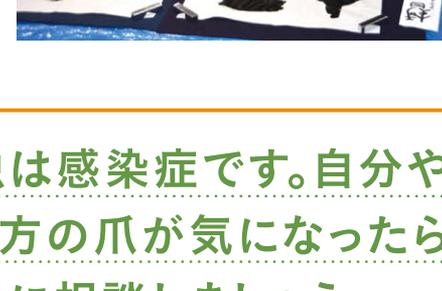
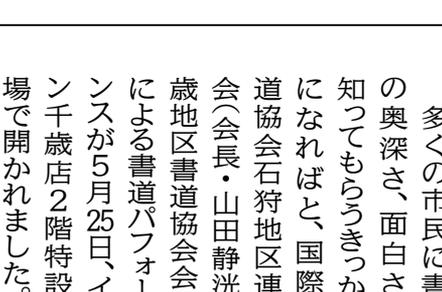
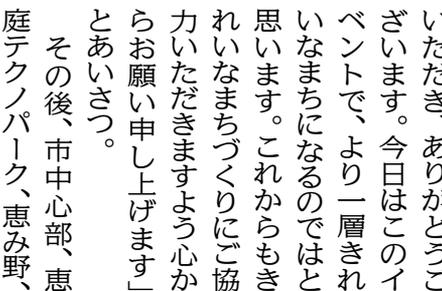
その後、市中心部、恵庭テクノパーク、恵み野、島松の4つのルートに分かれて作業をスタート。約2時間かけて3、4kmのルートを歩き、ごみ袋と火ばさみを手に道路脇や草むらに落ちていたタバコの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどを丁寧に拾い集めていました。

多くの市民に書道の奥深さ、面白さを知ってもらうきっかけになればと、国際書道協会石狩地区連合会（会長・山田静洗千歳地区書道協会会長）による書道パフォーマンスが5月25日、イオン千歳店2階特設会場で開催されました。当日は買い物に訪れた市民らが会場を訪れ、ワークショップで手本に倣って書の基本を学んだほか、同連合会役員らが迫力あるパフォーマンスを披露しました。

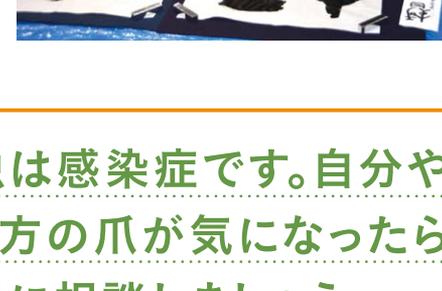
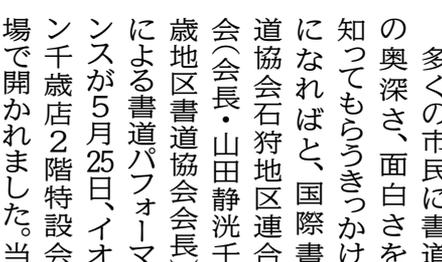
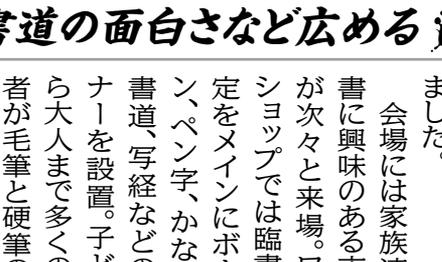
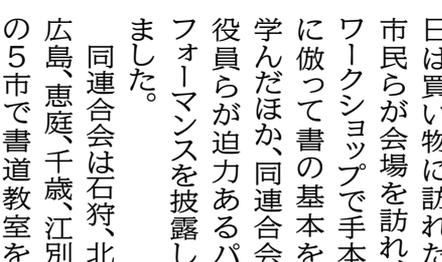
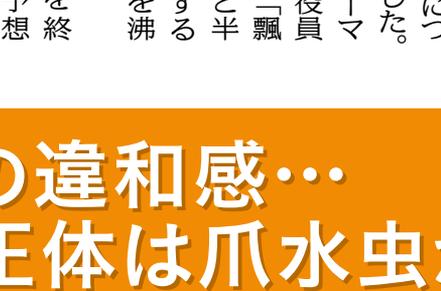
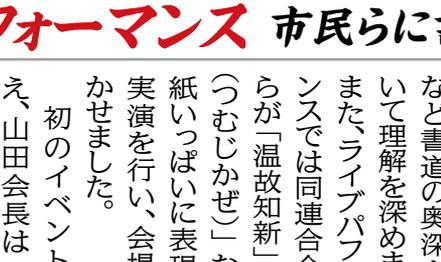
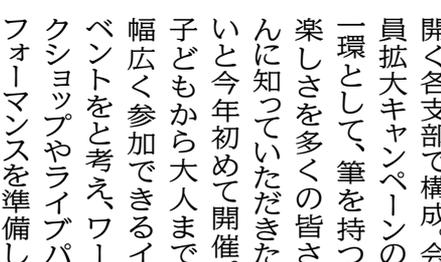
会場には家族連れや書に興味のある市民らが次々と来場。ワークショップでは臨書や規定をメインにボールペン、ペン字、かな、実用書道、写経などのコーナーを設置。子どもから大人まで多くの来場者が毛筆と硬筆の違いなど書道の奥深さについて理解を深めました。また、ライブパフォーマンスでは同連合会役員らが「温故知新」や「飄（つむじかせ）」など半紙いっぱい表現する実演を行い、会場を沸かせました。

初のイベントを終え、山田会長は「予想を超える来場者の多さに驚くとともに、多くの皆さんが書道に触れるきっかけになったのではと思います。今回は千歳でしたが、次回は他の4市でもキャンペーンを実施したい」と意欲を見せていました。

（編集部 伊藤）



（編集部 大谷）



書道協会 書道パフォーマンス 市民らに書道の面白さなど広める

多くの市民に書道の奥深さ、面白さを知ってもらうきっかけになればと、国際書道協会石狩地区連合会（会長・山田静洗千歳地区書道協会会長）による書道パフォーマンスが5月25日、イオン千歳店2階特設会場で開催されました。当日は買い物に訪れた市民らが会場を訪れ、ワークショップで手本に倣って書の基本を学んだほか、同連合会役員らが迫力あるパフォーマンスを披露しました。

爪の違和感… 正体は爪水虫かも？

爪水虫は感染症です。自分や周りの方の爪が気になったら皮膚科に相談しましょう。

監修 恵み野皮膚科クリニック 院長 小玉 和郎 先生

爪水虫(正式名称:爪白癬)は主に足の爪に白癬菌というカビが感染する病気です。爪水虫になると爪が白く濁り、時に分厚くなります。治るまで1、2年ほどかかることが一般的で、飲み薬が推奨されていますが、内服できない方は塗り薬で治療します。爪水虫の部分から細菌感染を起こして下肢が化膿したり、歩き方が悪くなって膝などに悪影響を及ぼすこともあり、放置すべきではありません。疑わしい症状がある方は皮膚科を受診して下さい。

写真提供: 恵み野皮膚科クリニック 院長 小玉 和郎 先生

加藤 卓郎. Jpn J Med Mycol. 2006; 47 (2), 63-67.

佐藤製薬株式会社

DTC030TP1-17